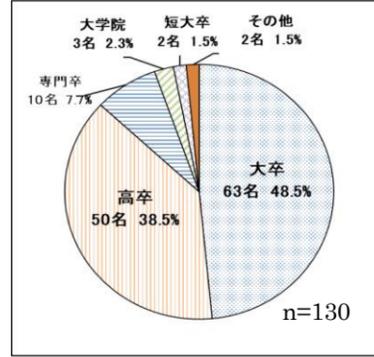


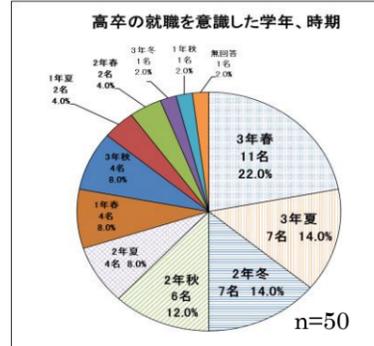
当協会が主催する「新入社員合同研修」の参加者を対象に、2012年より「新入社員意識調査」を実施している。今回は参加者130名(40社より男性88名、女性42名)のうち全員から回答を得た。(調査日：2025年4月3日) ※2024年度を比較対象とした。

今回の参加者の構成は、「大卒」63名(48.5%)がもっとも多く、次いで「高卒」50名(38.5%)、「専門卒」10名(7.7%)、「大学院」3名、「短大卒」2名(1.5%)、その他(中途)2名であった。

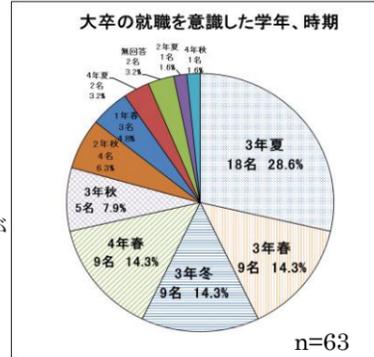


問1. あなたはいつから就職を意識していましたか。該当する学年・時期を教えてください。

「高卒」では、「3年春」がもっとも多く、11名(22.0%)、次いで「3年夏」と「2年冬」が7名(14.0%)がともに7名(14.0%)であった。



「大卒」では「3年夏」がもっとも多く、18名(28.6%)、次いで「3年春」と「3年冬」がともに9名(14.3%)であった。



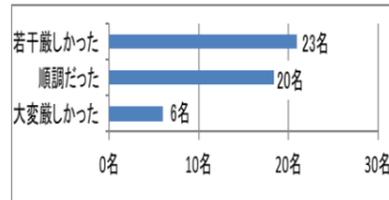
「専門卒」では「1年冬」が5名、次いで「2年夏」が2名。「1年夏」「1年秋」「2年春」が各々1名であった。

「大学院」では、「2年夏」「3年夏」「3年秋」が各々1名ずつであった。

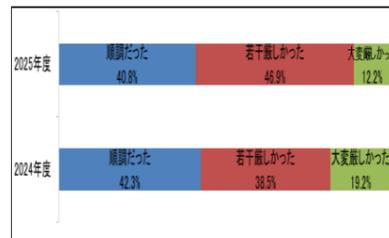
「短大卒」では「1年夏」「2年夏」各々1名であった。

問2. 就職活動を振り返って(高卒)

「若干厳しかった」23名(46.9%)と「大変厳しかった」6名(12.2%)であった。2024年度と比較すると「若干厳しかった」割合が増加し「順調だった」の割合が若干減少した。

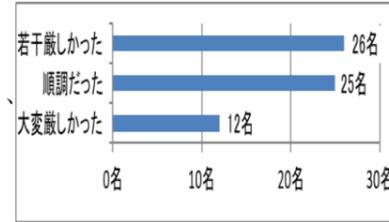


※参考：2024年度「順調だった」42.3% 「若干厳しかった」38.5% 「大変厳しかった」19.2%

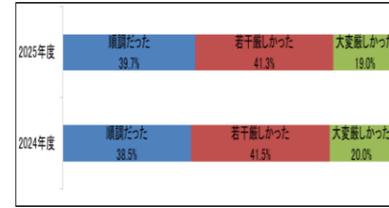


問2. 就職活動を振り返って(大卒)

「若干厳しかった」26名(41.3%)と最も多く、「順調だった」25名(39.7%)であった。2024年度と比較すると「順調だった」割合が増加し「若干厳しかった」の割合が若干減少した。



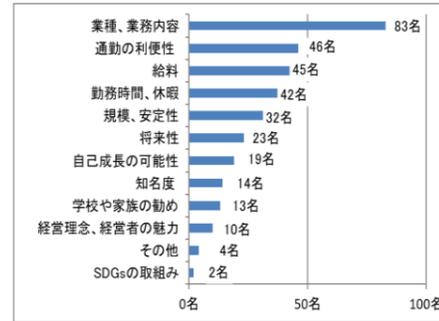
※参考：2024年度「順調だった」38.5% 「若干厳しかった」41.5% 「大変厳しかった」20.0%



「大学院」では「順調だった」「若干厳しかった」「大変厳しかった」がそれぞれ各1名の回答であった。「専門卒」では、「若干厳しかった」が最も多く8名の回答があり、「順調だった」が1名であった。「短大卒」では「若干厳しかった」「大変厳しかった」が各々1名ずつの回答であった。

問3. 就職先を選ぶ際に重視した点は?(3つまで選択可)

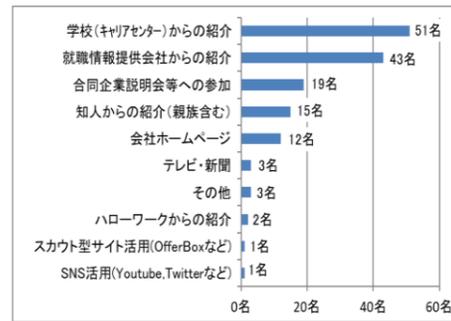
「業種、業務内容」が83名と最も多く13年連続のトップ。以下やや差があつて「通勤の利便性」46名、「給与」45名等が続いている。



※参考：2024年度「業種、業務内容」がトップ

問4. 就職先の求人情報をどのツールで知ったか

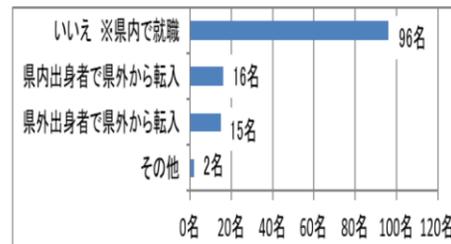
「学校からの紹介」が51名と最も多く、以下「就職情報提供会社からの紹介」43名、「合同企業説明会への参加」が19名と続く。ハローワークの利用が少ない結果となった。



※参考：2024年度 同様の傾向

問5. 就職にあたり、県外から転入してきたか

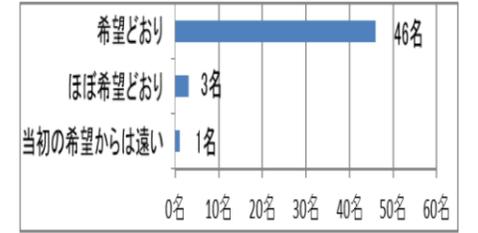
「いいえ」が96名と最も多く、U・Iターンは少ないことが伺える。



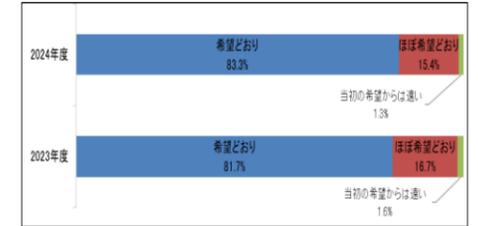
※参考：2024年度 同様の傾向

問6. 就職した企業は?(高卒)

「希望どおり」が46名(92.0%)、「ほぼ希望どおり」が3名(6.0%)の回答であった。両者を合わせると49名(98.0%)である。また、1名(2.0%)が「当初の希望からは遠い」と回答し、こちらは低い割合であった。

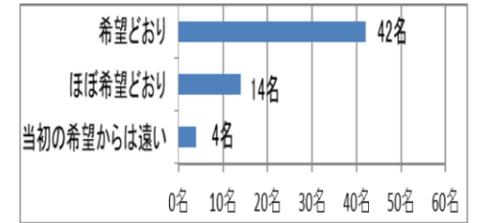


※参考：2024年度「希望どおり」83.3% 「ほぼ希望どおり」15.4% 「当初の希望からは遠い」1.3%

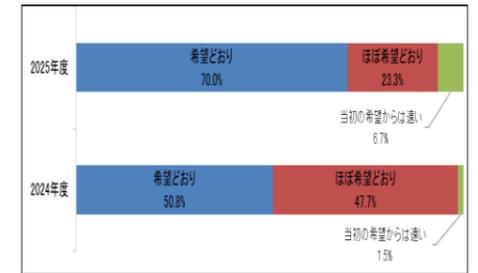


(大卒)

「希望どおり」が42名(70.0%)、「ほぼ希望どおり」が14名(23.3%)の回答であった。両者を合わせると56名(93.3%)である。また、4名(6.7%)が「当初の希望からは遠い」と回答があり低い割合であった。



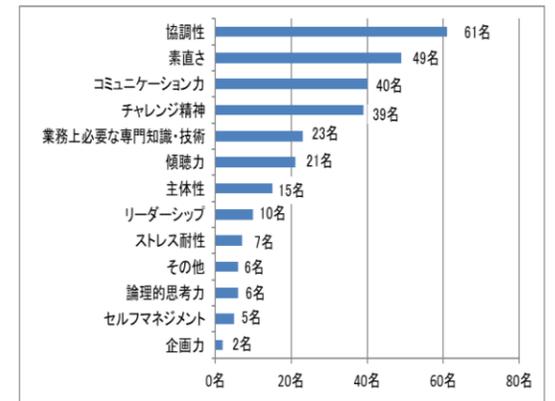
※参考：2024年度「希望どおり」50.8% 「ほぼ希望どおり」47.7% 「当初の希望からは遠い」1.5%



「大学院」では「希望どおり」2名、「ほぼ希望どおり」1名の回答であった。「専門卒」でも「ほぼ希望どおり」9名、「希望どおり」1名の回答であった。「短大卒」でも「希望どおり」2名の回答であった。

問7. 就職活動でアピールした自分の強みは?(3つまで選択可)

「協調性」61名が最も多く、次に、「素直さ」49名、「コミュニケーション力」40名などが続いている。

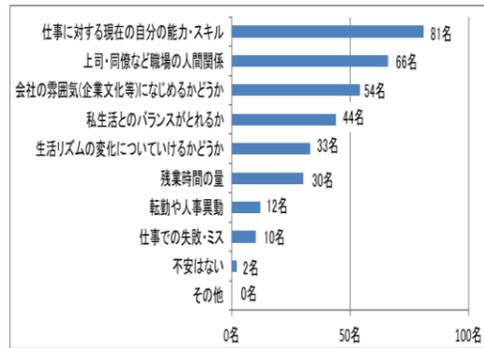


※参考：2024年度 1位. コミュニケーション力 2位. 協調性 3位. 素直さ

(表面の続き)

問 8. 社会人生活に対する不安(3つまで選択可)

「仕事に対する自分の能力スキル」81名、「上司・同僚など職場の人間関係」66名と続いている。「不安はない」は2名だけであった。

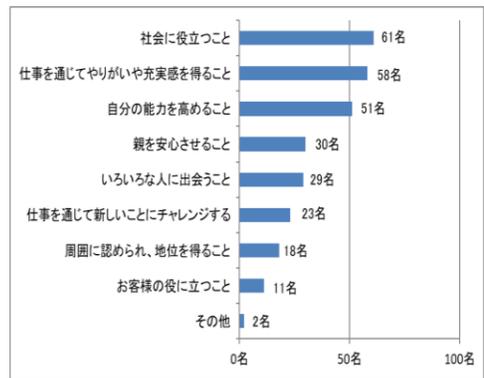


※参考：2024年度

- 1位. 「上司・同僚など職場の人間関係」
- 2位. 「仕事に対する自分の能力スキル」

問 9. あなた自身の働く目的は？生活費を得ること以外で(3つまで選択可)

「社会に役立つこと」61名、「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」が58名、次いで「自分の能力を高めること」51名などが続いている。逆に「お客様の役に立つこと」「周囲に認められ、地位を得ること」は低い割合であった。

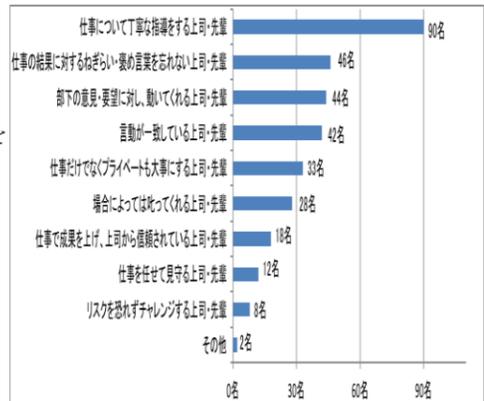


※参考：2024年度

- 1位「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」

問 10. あなたが理想だと思うのはどのような上司や先輩ですか？(3つまで選択可)

「丁寧な指導をする上司・先輩」90名、次いで「ねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩」46名、「部下の意見・要望に対し、動いてくれる上司・先輩」44名、「言動が一致している上司・先輩」42名と続いている。

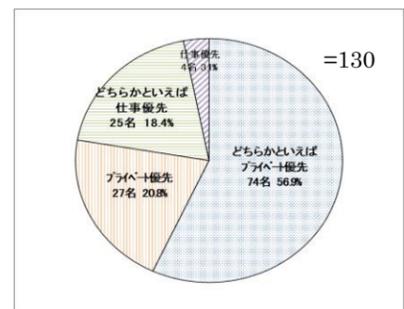


※参考：2024年度

- 1位は昨年同様、2位は部下の意見・要望に動いてくれる上司

問 11. 仕事とプライベートについて

「どちらかといえばプライベート優先」が74名(56.9%)と圧倒的に多く、次いで、「プライベート優先」27名(20.8%)、「どちらかといえば仕事優先」25名(18.4%)と続いている。合計すると77.7%の新入社員がプライベートを優先したいと考えている。「仕事優先」と回答したのは4名(3.1%)であった。

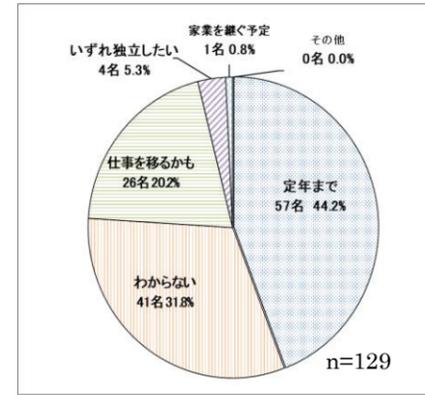


※参考：2024年度「どちらかといえばプライベート優先」51.8%

- 「どちらかといえば仕事優先」 23.8%
- 「プライベート優先」 18.4%
- 「仕事優先」 6.0%

問 12. 今の就職先でいつまで働こうと思いますか？

「定年まで」が57名(44.2%)で最も多かった。一方、「わからない」41名(31.8%)、「仕事を移るかも」26名(20.2%)と続いている。「仕事を移るかも」、「いずれ独立したい」を合計すると30名(25.5%)が今の就職先を「いずれ離れる」としている。

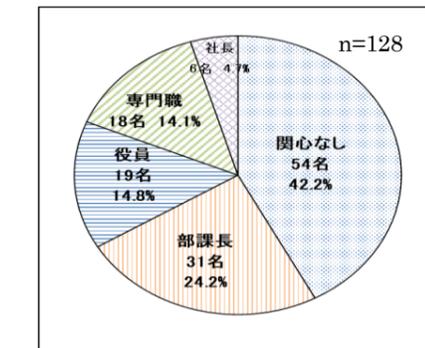


※参考：2024年度

- 「定年まで」42.3%
- 「仕事を移るかも」20.2%
- 「いずれ独立したい」5.3%
- 「家業を継ぐ予定」1.8%

問 13. 自身の昇進について、どこまで目指しますか？

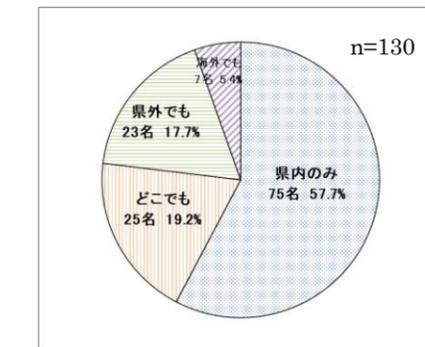
「昇進にあまり関心がない」が54名(42.2%)で最も多く、以下「部課長」31名(24.2%)、「役員」19名(14.8%)、「専門職」18名(14.1%)と続いている。



※参考：2024年度「関心なし」35.7%

問 14. 働く場所について自分の考えに最も近いのは？

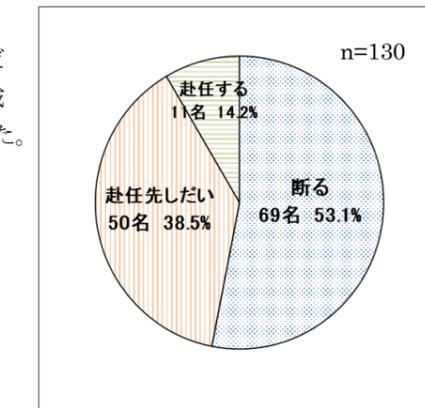
「富山県内でずっと働きたい」が75名(57.7%)で最も多く、「働く場所にはこだわらない」25名(19.2%)、「富山県だけでなく県外でも仕事をしてみたい」23名(17.7%)と続く。「機会があれば海外でも」は7名(5.4%)であった。



※参考：2024年度「県内のみ」47.6%

問 15. 将来、あなたに海外転勤の打診があったら？

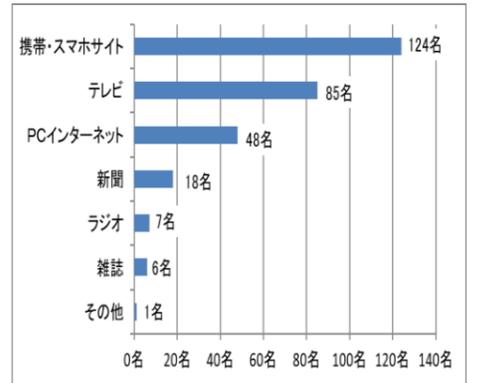
「断る」が69名(53.1%)、「国・地域だけで検討する」が50名(38.5%)、「国・地域を問わず赴任する」は11名(14.2%)であった。



※参考：2024年度「断る」42.9%

問 16. 日常的な情報収集メディアは？(3つまで選択可)

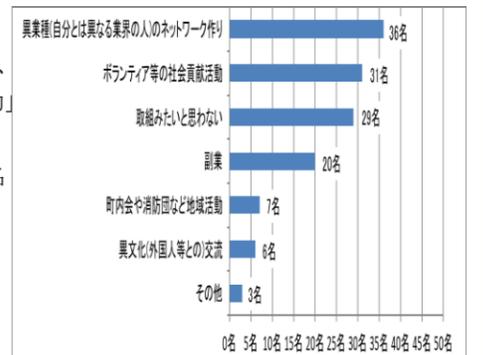
「携帯・スマホサイト」が124名で、10年連続のトップ。2012年調査時は4位であったが、飛躍的に伸びている。次いで、「テレビ」85名、「PCインターネット」48名が続いている。紙による情報収集が減少傾向にある。



※参考：2024年度 同様

問 17. 社外活動の関わりについて取り組んでみたいと思うものは？(1つだけ選択可)

「異業種のネットワーク作り」が36名、次いで「ボランティア等の社会貢献活動」31名と続いている。一方、「取り組みたいと思わない」は29名であった。



※参考：2024年度

- 1位. 異業種のネットワーク作り
- 2位. 副業
- 3位. ボランティア等の社会貢献活動

<まとめ>

- ・今年度の新入社員の就活の状況は問2および問6より、就職活動が若干厳しかったものの、ほとんどの人が希望した企業へ就職できていることがわかった。
- ・求人情報のツールは問4より、通っている学校(キャリアセンター)からの紹介が多いこと、問5より県内での就職が多いことがわかった。
- ・問8の「社会人生活の不安」を聞いたところ、自分の能力・スキルや職場の人間関係、会社になじめるかなど不安に感じている面もあるが、一方で問9の「あなた自身の働く目的は？」では社会に役立つこと、仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」などと回答があり、仕事に対する意欲も高いことがわかった。
- ・以上より、希望する企業への就職が叶った傾向が強くと、新入社員の仕事に対する期待値は高い状況にあると考えられる。一方で、依然として企業では人手不足が続く中、早期離職を防ぐ観点から、入社後から自信をもって働けるサポート体制や風通しの良い職場環境の構築など人材の育つ組織づくりが必要不可欠といえる。

以上